

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4190200057
法人名	(有)テクノライン
事業所名	すこやかほ～む七山
所在地	佐賀県唐津市七山滝川1001番地 (電話) 0955-70-7300

評価機関名	佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成21年1月30日	評価確定日	平成21年4月7日

【情報提供票より】(平成21年1月6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 1人, 常勤換算	14.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建造り
------	---------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷金	有(100,000 円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(1月6日現在)

利用者人数	16 名	男性	6 名	女性	10 名
要介護1	7 名	要介護2	6 名		
要介護3	2 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 85 歳	最低	76 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	阿部医院 田村歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>山に囲まれた自然豊かな高台に建つ平屋建て2ユニットのホームである。事業所の周辺道路は道幅が広く、十分な幅の歩道が確保されている。近くの滝や公園・農産物直売所には歩道を通って行けるなど、安心して散歩ができる環境である。敷地面積が広く、芝生の庭や居室からの見晴らしが良く、ゆったりとした生活環境が提供されている。近くの商店やガソリンスタンドの人と顔見知りで、入居者が一人で散歩されても連絡が入る関係が築かれている。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回は最初の評価である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は全職員で取り組み、ケアの再認識や見直しにつなげている。今回の評価結果は勉強会に活用し、事業所の質の確保に活かす予定である。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は区長や民生委員、行政職員、入居者家族などのメンバーで2ヶ月に1度開催され、ホームの活動や取り組みを説明している。運営推進会議では外部評価や自己評価の結果を示して事業所の取り組みを説明する予定である。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の面会時に管理者は必ず声を掛け、話をする心を心掛けており、入居者の日常の様子や健康状態を伝えている。入居者には担当職員が決っており、面会が少ない家族には電話で連絡し、情報交換している。家族会を開催し、要望や意見を聞いている。重要事項説明書に事業所における苦情等相談窓口と行政機関その他苦情等受付機関を明記し、家族に説明している。投函箱も設置され、意見を表せる機会を設けている。頂いた意見はその都度検討して対応するなど、運営に反映する体制ができています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の区長とは相談できる関係が築かれているが、地元の人々と交流するには至っていない。今後、自治会や老人会に入会する予定で、地域行事に参加するべく取り組んでいる。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域と積極的に関わりを持つことを基に、その人らしい普通の暮らしを支えるという事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	業務開始時に理念の確認と唱和を行い、理念の共有に努めている。ホーム内に理念を掲示し、職員は日々の業務を通して理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の区長とは相談できる関係が築かれているが、地元の人々と交流するまでには至っていない。今後、自治会や老人会に入会予定であり、地域行事への参加を通じた地域交流に取り組んでいる。	○	現在の取り組みが実現し、地域住民の一員として事業所と地域の人々が日常的に関わりを持つような双方向の関係が築かれることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で取り組み、ケアの再認識や見直しにつなげている。外部評価は今回が初めてだが、評価結果をまとめて勉強会に活用し、事業所の質の確保に活かす予定である。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は区長や民生委員、行政職員、入居者家族などのメンバーで2ヶ月に1度開催され、ホームの活動や取り組みを説明している。議事録や関係書類も残されている。運営推進会議では外部評価や自己評価の結果を示し、事業所の取り組みを説明する予定である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政担当職員とは、連絡を取り合い相談できる関係ができており、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に管理者は必ず声を掛け、話をする心を心掛けており、入居者の日常の様子や健康状態を伝えている。入居者には担当職員が決まっており、面会が少ない家族には電話で連絡をし、情報交換している。	○	ホーム便りを発行する準備が進められており、家族への情報提供の更なる充実が期待される。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を開催し、要望や意見を聞いている。また、重要事項説明書には事業所における苦情等相談窓口と、行政機関その他苦情等受付機関を明記し、家族に説明している。玄関には投函箱も設置され、意見を表せる機会を設けている。頂いた意見はその都度検討して対応するなど、運営に反映する体制ができています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が代わる時は入居者に知らせ説明している。入居者から質問があった場合もしっかりと理由を説明し、混乱を防ぐ配慮をしている。家族への連絡が遅れがちなので、今後はホーム便りの発行に合わせて報告する計画である。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の開催情報は職員に伝えられ、希望すればできる限り参加できる様、勤務調整などの配慮がなされている。職員自身が自ら情報を入手して希望した研修にも参加できる様支援している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所として地域の同業者との交流はなく、情報交換の機会は少ない。個人的に同業者と情報交換している職員はいるが、事業所として把握するには至っていない。	○	事業所のサービスの質の向上を図る上で、同業者との交流や連携が重要であり、同業者との情報交換や相互訪問の機会を通じ、事業所や地域全体としてのサービス水準の向上を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	管理者が自宅や入院先を訪問したり、入居前にホームの見学を勧めて十分な説明をするなど、安心して入居できる支援が行われている。体験入居の取り組みもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	菜園や花壇の維持管理、料理方法や昔から伝わる生活の知恵・生活習慣など、人生の先輩として教えられる事も多く、職員と共に支え合う関係が築かれている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日々の生活を通して入居者と会話する事を心掛けており、本人の思いや意向を汲み取るように努めている。希望や意思を伝えることが困難な入居者には本人の様子や態度から察したり、家族から情報を得るように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者や家族、管理者や担当職員などが話し合い、主治医の意見を聞きながら具体的な介護計画が立てられている。担当職員は日々の暮らしの中で気付いた情報を記録し、介護計画に活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎の定期見直しと、状態の変化があった時はその都度本人や家族・関係者と話し合いがもたれ、見直しが行われている。3ヶ月毎にモニタリングが行われ、現状に即した介護計画の見直しにつなげている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や入居者本人の要望で、通院や買物、外出・外泊などの支援も柔軟に行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者や家族の意向を大切に、入居前のかかりつけ医の継続受診を支援している。通院などの送迎は入居者や家族の要望に沿って支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方については、契約時に話し合いが行われている。終末期対応の指針が有り、入居者や家族の意向を確認しながら取り組んでおり、方針が共有されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は入居者の誇りやプライバシーを損ねることのない様に、声掛けや言葉づかいに配慮している。個人情報の記録簿もプライバシーに配慮し、適切に保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の基本的な流れは決まっているが、それにとらわれる事無く入居者の希望を大切にした支援を心掛けている。食事の時間や場所、起床時間、レクリエーションへの参加など、個人の希望に添った支援が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや配膳・後片付けなど、入居者ができる事は職員が見守りながら支援している。入居者は会話を楽しみながら食事をしているが、職員は検食と見守りで食卓に着いているのみである。職員はそれぞれ弁当などを別室で摂っている。	○	共に暮らす家族の一員として、職員と入居者が一緒に食事を摂れるような食事のあり方について、検討を期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の希望がある場合、入居者は毎日の入浴が可能である。入浴時間帯や長さなどは入居者の希望を大切に支援を心掛けている。入浴を拒まれる入居者には時間や順番を変えたり、職員の声掛けで入浴を支援している。毎月2回温泉に行く日を設けたり、ゆず湯や入浴剤を使用するなど入浴が楽しみになるような工夫もされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみや掃除・食器洗いなど「一日一役お願いします」と入居者が得意な役割を決め、職員は見守りながら支援している。カラオケや野菜の収穫・花いじりなどの楽しみごともある。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	敷地面積が広く入居者は自由に庭や畑に出ることができ、職員は見守りながら支援している。自宅訪問や買物、散歩など入居者が希望されれば職員はできる限り支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	出入り口の施錠は夜間のみで、日中は施錠しておらず出入りは自由である。職員は常に入居者の状況を把握するように心掛け、見守りながら支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	「グループホーム消防計画」があり、消防署にも協力を依頼している。夜間災害対策として、ボタンひとつでセキュリティ会社に直結した災害通報システムがある。消防署とのつながりも重要と考え、職員を消防署へ研修に行かせている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は主食・副食を毎食毎に記録し、栄養バランスの把握はできており、一人ひとりにあった食事支援につなげている。水分摂取を心掛け、1日1リットル以上飲めるよう支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂兼居間は広く明るく、季節感のある手芸品が飾られ季節を感じる雰囲気作りがなされている。共用空間にはソファや椅子が多数置かれ、入居者は思い思いの場所で寛ぐことができている。換気を心掛け、不快な臭いがないように配慮している。入浴前に浴室と脱衣室を同時に暖めるなどの配慮もなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はテレビや冷蔵庫を含め希望の品を持ち込むことができる。畳を敷くことも可能である。手芸品やカレンダー・写真を飾ったり、カーペットを敷くなどしてその人らしい居室作りがなされている。		